



のびのび若っ子

命どう宝

校長 池田 千穂

子ども達の元気な声とあふれる笑顔が学校に戻り、学校生活が始まりました。日々更新する新型コロナウイルス新規感染者数の発表を聞き、この数字をどう捉えるべきなのかと考えさせられる夏休みでした。様々な夏の行事も3年ぶり開催するところ、今年度も断念するところ、それぞれに悩んだ決断なのだろうと関係者の方々のご心労を思いました。本校もこれから運動会、全校遠足、学習発表会などの全校行事、4年生の宿泊、社会科見学や遠足などを予定しています。日々の感染予防と感染拡大防止を教職員一同再確認して行っていきますので、ご家庭や地域でのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、私は夏休み中、「沖縄」の話題に触れることが多く、美ら海に思いを馳せていました。今年、沖縄本土復帰50周年でメディアにも多く取り上げられていたことあると思います。そんな沖縄には素敵なお言葉がいろいろあることを知りました。黄金言葉と言われる沖縄で語り継がれてきたことわざのような言葉です。それは黄金のように価値があるということからそう呼ばれています。それを沖縄のなんとも柔らかい言い回しと独特の発音で言われると優しく心にしみます。



例えば、「行逢えば兄弟」（いちゃりば ちよーでー）『まったくの他人でも、何かの縁で知り合ったらそれは兄弟みたいなもの』という意味だそうです。沖縄の人々が人とのつながりを大切に、そして当たり前で助け合い、協働してきたことが伺えます。

沖縄の言葉を調べてみると必ず書かれているのが「命どう宝」（ぬちどうたから）という言葉です。『命こそ宝』という意味で、琉球最後の国王、尚泰が残した言葉だそうです。この言葉は平和を心から願い、命の大切さを伝え続けています。

この夏も様々な痛ましい事件がおこりました。私たちは、「命どう宝」という沖縄の言葉をそれぞれの言葉でそれぞれの思いを込めて、子ども達に伝え続けていかななくてはならないと強く思いました。本校でもあらゆる教育活動を通して、命を大切にすることを育んでまいります。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切にすることを育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』